

政策形成能力向上

～地域特性を生かした企画と問題解決～

○講座のねらい

行政を取り巻く環境の著しい変化に柔軟に対応するため、地域の特性を重視した事業の検討や既存業務の見直し等における発想力・創造力を向上させる手法等を学び、今後の政策形成能力向上の基礎とする。

○対象者

受講を希望する職員

○日 程

令和3年 7月29日(木)～30日(金) 2日間

○会 場

自治研修センター(午前9時30分までに集合)

○予定人員

35名

○講 師

(株)グローバルネットワーク
高山 理英



○カリキュラム

	午 前	午 後
1 日 目	(9:40～10:00) ・オリエンテーション (10:00～12:00) ・政策形成能力と政策形成のプロセス ・企画とは ・企画の流れと要素 ・企画に求められる創造性開発 ① 創造性が求められる背景	(13:00～16:30) ② 発想とアイデア 欠点列挙法 希望点列挙法 ・企画に求められる情報収集 →整理→分析→評価 ① 情報源とその収集方法 ② 情報評価のポイント
2 日 目	(9:40～12:00) ・企画と企画立案 ① 企画のシステム化 ② システム思考の4つのプロセス ③ 地方自治体に求められる企画とは ④ 各自治体の企画(新型コロナウイルス対策)と取り組み ⑤ 自治体間(地域間・都市間)競争とCS ⑥ 企画の種類	(13:00～16:00) ・企画と問題解決 問題の創造と問題解決の手順 ・企画立案の実践 ・EBPM(根拠に基づく政策立案) ・ビックデータを活用した手法 ・企画の具体化、提案から実施に向けて (16:00～) ・閉講

【令和2年度受講生のアンケートから】

- 次期総合計画の策定や既存事業の見直しを行う中で、政策形成に必要なプロセスや手法を学びたいと思い受講した。
- 自治体間競争で生き残りをかけた政策が求められる時代であるため創造性の重要性を学んだ。
- アイディアを発想すること、情報収集に努め習慣化することが大切だと感じた。現在の問題や課題に対して、問題解決のための目標設定が適切なのか現状分析をしていきたい。